

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

エンドウ4品種、南部小麦は特段の寒さにめげずに、順調に生育しています。麦踏みも2回しました。混迷を深める時代には一層深く学び、地道に考えることが大事だと思います。日本村塾ゼミで、皆様と一緒にもっと学び、話し合いたいです。

FAO世界農業遺産の関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道』では、雑穀街道普及会の賛同者を募っています。賛同が広がるようにどうぞご援助くださいますようお願いいたします。FAO世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように、一層のご助力をお願いします。下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。世界農業遺産などに関する紙ベースの資料・図書は「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」で閲覧していただけます。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。なお、自然文化誌研究会の全体の活動は「ナマステ」でお知らせしています。地方創生と大騒ぎしていても、「辺境」の地道な市民活動にはほとんど関心がもたれませんので、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人に転送伝達していただけるとうれしいです。

○報告

1. 植物と人々の博物館の復興、

12月19日（金）に、書籍を書架に並べました。雑穀街道の展示は再開しました。展示「多様な生業」を企画していますので、民具整理や展示準備、データ整理などご協力ください。狩猟・漁撈は黒澤ら担当、採集・農耕（海外調査の道具など含む）は木俣が担当します。また、自然文化誌研究会らしさを出したいので、冒険探検関係の資料・用具などがありましたら、展示にお貸しください。

○予定

1. 作業予定日：2018年1月12日（金）、19日（金）、26日（金）、2月2日（金）、9日（金）の予定です。

植物と人々の博物館／森とむらの図書室では、順次、図書・資料や民具の展示を再開しています。作業にご協力いただきたく、よろしくお祈りします。ご協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。ご都合に合わせて、日程調整します。

kibi20kijin@yahoo.co.jp

2. 民族植物学ゼミ第5回の日程

下記の通り開催しますので、ご参加ください。日時：2018年1月27日（土）午後2時から4時、場所：JR飯田橋駅近く、神楽坂のタイムズカフェ、話題：自然と感じ合う農耕の楽しさ。参加予定者：木俣ほか、今のところ4名予定。参加希望の方は場所など不明な点はメールでお問い合わせください。推薦図書：レイチェル・カールソン（1956）、上遠恵子訳（1996）『センス・オブ・ワンダー』、新潮社。参考図書：同左（1962）、青樹築一訳（1974）『沈黙の春』、新潮社。

3. 「憲法に環境原則を追加する提案」についての研究会を認定NPO法人環境文明21（憲法部会）で行っています。次回は2018年1月末を予定しています。ご興味があれば詳細をお知らせします。現在の提案書（憲法前文と第三章環境を加筆）は次のホームページで読めます。 <http://www.kanbun.org/2017/170824teigen/170824teigen.html>

4. 提案

1) 第40回環境学習セミナー（案）

話題：雑穀街道における家族農業、自給農耕、ファーマーズマーケットの楽しみと食料安全保障について、予算が得られれば、2・3人の講師をお願いして話し合いたいと考えます。日時：未定。場所：上野原市。

2) 日本村塾の自給農耕ゼミ、民族植物学ゼミ、扶桑こくゼミは、希望者があれば読書会開催します。都市農業や家族農業の図書文献は森とむらの図書室（小菅および藤野分室）で閲覧できます。講演や研究報告はホームページで読めます。

5. 民族植物学第11号は編集中です。第12号の原稿締め切りは2018年7月とします。関東地方の雑穀栽培、アニミズム信仰論など準備しますが、ご寄稿を歓迎します。バックナンバーは第7号～第10号まで少しあり、希望者に差し上げます。第1号から第10号まで、すべての記事はホームページで読めます。

6. 『雑穀のインド亜大陸』は民族・信仰について学びながら、パキスタンおよびインド各州について、個人の現地調査の体験をまじえながら、自由に書いています。第2章インド亜大陸の多彩な自然と文化を公開、第9章ネパール・ブータン、の雑穀をまとめています。同じく、『日本雑穀のむら』は第7章九州・沖縄地方の雑穀栽培を公開、第4章関東山地南部地域の雑穀栽培についてはまとめています。『環境学習原論』および『第四紀植物』、“Essence of Ethobotany”はまだ目次構成程度ですが、書き始めています。ともに、下記の個人ホームページから引用してくださる場合は、順次必要に応じて改訂していきますので、「木俣（2018未定稿）」としてくださるようお願いいたします。

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミュージーズ研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） npo-inch@wine.plala.or.jp

公式 HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行：木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

個人 HP：生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

写真



植物と人々の博物館展示台の設置、森とむらの図書室の整備状況



小菅村の道祖神（セイノカミ）の祭りでの門松焼、藤野ビオ市での自家製醤油搾り



刺繡 (2018. 1) 英国一美しい村 Bibury より。